

## 自転車活用状況調査のとりまとめ

### 1. 調査概要

#### (1) 目的

「石岡市りんりんタウン構想」の策定に向けて、本市における自転車の利用状況、交通ルールの認知度、サイクルツーリズムの状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。

#### (2) 調査結果

<実施概要>

項目	① 市民アンケート調査		② サイクリストアンケート調査	③小・中学生アンケート調査	合計
調査対象	18歳以上	市内 公立高校 (1年生)	本市でサイクリングを している人	石岡地区・八 郷地区の各2 校 (小5・中2)	
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・属性</li> <li>・自転車の保有と利用の利用理由</li> <li>・自転車利用について</li> <li>・自転車の利用環境</li> <li>・交通ルールの遵守状況</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・属性</li> <li>・自転車の保有と利用の利用理由</li> <li>・自転車利用について</li> <li>・自転車の利用環境</li> <li>・交通ルールの遵守状況</li> <li>・走行ルートやイベント参加意欲</li> </ul>	交通ルールのクイズ	
調査方法	郵送配布・回収	直接配布・回収	直接配布・回収 (H30/7/14,21 実施)	直接配布・回収	
配布数	1,900	682	72	495	3,149
回収数 (回収率)	595 (31.3%)	472 (69.2%)	72 (100%)	482 (97.3%)	

アンケート対象者と配布数の内訳

#### ①市民アンケート調査

高校生  
<16～18歳>  
(682名)

生産年齢層  
<18～64歳>  
(1,520名)

高齢者  
<65歳～>  
(380名)

②サイクリストアンケート調査  
(72名)

③小・中学生アンケート調査  
(495名)

## ①市民アンケート調査

### [市民アンケート調査(595名集計)]

- 平日、休日とも自転車をほとんど利用しない方は約75%であるが、自由に使える自転車を所有していない人は約30%程度である。自転車は保有しているが、日常的に自転車は利用しないという生活スタイルとなっているといえる。
- 自転車利用の目的は、平日、休日とも通勤・買い物が多くを占めるものの、サイクリングやレジャーで利用する人は利用者のうち3～4割である。
- 平日よりも休日の自転車利用時間・距離が長い傾向にあるが、休日でも往復5km未満が約75%を占める。
- 自転車を利用する方は、手軽で早く移動できることや健康・運動を理由に挙げている。利用しない方は、移動距離が長いことや車の運転中に自転車が危ないと感じることを理由に挙げている。
- 自転車利用環境に求められているものは、走行環境（自転車道・路面整備など）の充実となっている。また、ルール認知やマナーの向上も挙げられている。
- 自転車保険加入率は30%程度であり、未加入で今後も加入するつもりがない方が40%以上にものぼる。

### [高校生アンケート調査(472名)]

- 平日にはほぼ毎日自転車を利用する方は約5割であり、通学のために日常的に自転車を利用してはいる高校生は約8割を超える。休日の利用では、休日の度に利用する方が2割いる。
- 通学時には往復で30分以上の利用が約4割であり、1時間以上の利用も約1割を占める。
- 自転車を利用しない方は、多くが自転車では移動距離が長いことを理由に挙げているが、自転車走行中に危ないと感じていることを理由に挙げている方もいる。
- 自転車利用環境に求められているものは、走行環境（自転車道・路面整備など）の充実となっている。また、駐輪場の整備も挙げられている。
- 交通ルールを守らない理由は、危険を感じない、危険を感じるが面倒であることが挙げられているが、その交通ルールを知らなかったという理由が最も多い。
- 自転車保険加入率は60%程度であり、未加入で今後も加入するつもりがない方が20%を占める。

## ②サイクリストアンケート調査

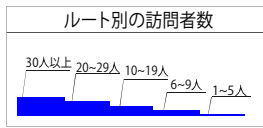
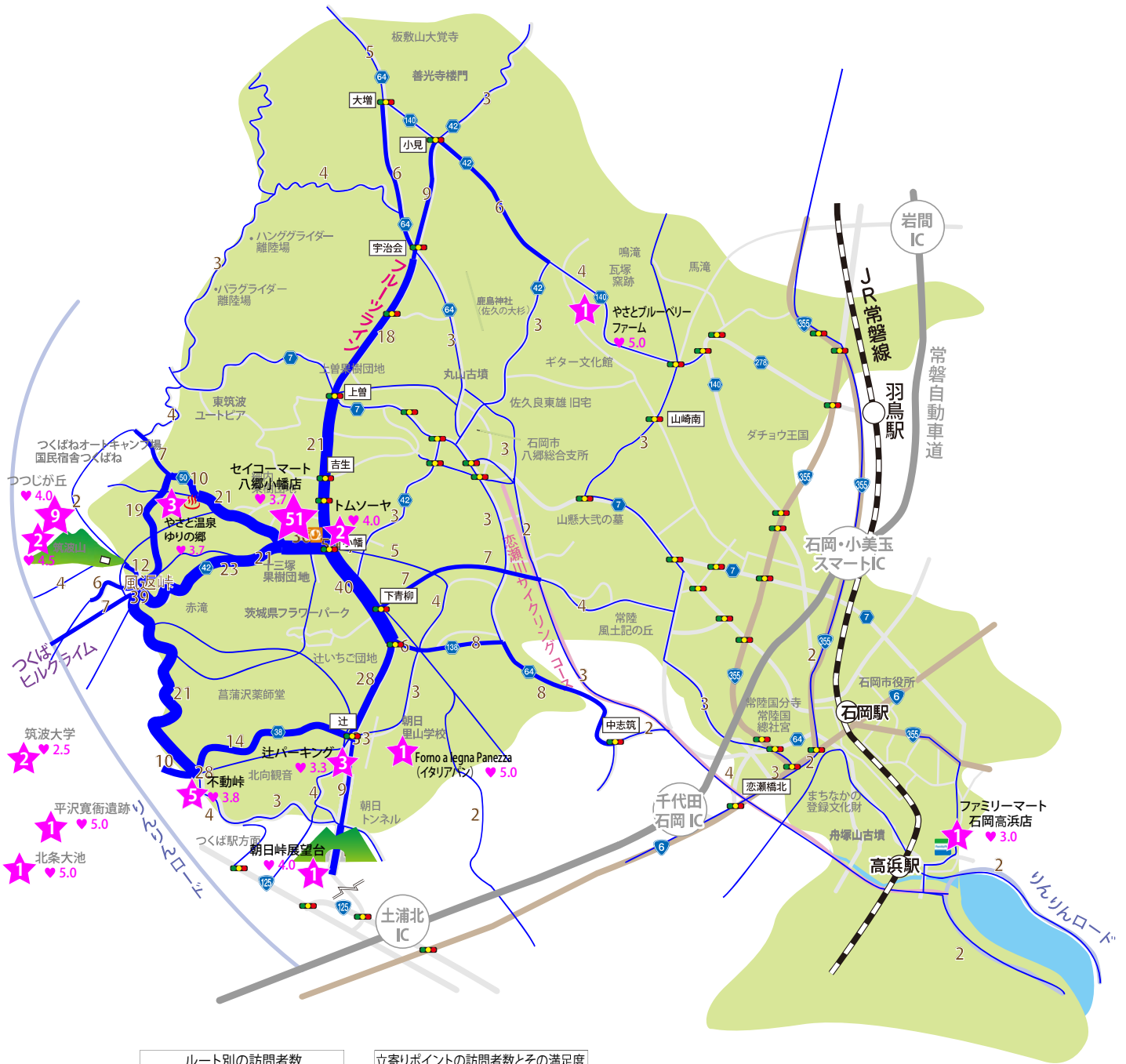
- アンケート対象者は、茨城県内が約75%、その他は千葉県、東京都である。なお、石岡市内の居住者は2名であり、ほとんどが市外のサイクリストである。
- 周辺への訪問は、約9割がリピーターであり、その訪問理由は競技レースやヒルクライムの練習が多くを占めている。
- 走行距離は60km以上が約70%、100km以上も約20%と長距離のサイクリングを楽しんでいる。
- サイクリングの満足度は高く、走りやすさよりもコースに対しての満足度が高くなっている。
- お土産の購入者は少なく、また、食事もしない方やコンビニエンスストアで済ませている方が多い。
- サイクリング環境に求められているものは、サイクルステーション・駐輪スペースの充実や走行環境（自転車道・路面整備など）の充実となっている。また、ルール、マナーの向上も比較的高い。
- イベントに参加している方も多く、開催時期については5月、10月の要望が高い。

## ③小・中学生アンケート調査

- 概ね8割以上の正解率となっており、基本的なルールについて認知されている。
- 歩道と車道の区別があるところは、車道の左側を走ることが原則であるが、必ずしもではないことから39%の正解率となっている。
- 13歳未満のヘルメットの着用努力義務については58%の正解率となっている。

〈サイクリストアンケート調査 -ルート別の訪問者数-〉

※ルートが把握できる回答のみ記載



<サイクリストアンケート調査 -走行環境が良くなってほしい場所->

